



九州大学 エネルギーウィーク 2026

# Energy Week 2026

「国際競争の新時代におけるサプライチェーンの未来」

九州大学エネルギー研究教育機構(Q-PIT)主催イベント

会場 九州大学伊都キャンパス[稲盛財団記念館 稲盛ホール]

2026  
1/26 月

10:00-11:35

## プレナリーセッション

言語 日本語  
オンサイト

開会挨拶 九州大学 総長 石橋 達朗

基調講演1

「強靱でイノベティブな  
サプライチェーンに向けて」

早稲田大学 政治経済学術院  
教授 戸堂 康之



基調講演2

「大量生産・大量消費社会と気候変動:  
サプライチェーン分析の視点から」

九州大学 大学院経済学研究院  
主幹教授 加河 茂美



11:45-12:00

九州脱炭素化研究会(Q-DeCS) イムラ・ジャパン賞 授賞式

13:40-14:50

## フォーカストセッションA

言語 日本語  
オンサイト

特別講演 「研究室から実用化研究へ:ペロブスカイト太陽電池  
のスタートアップ設立と実用化展開」

京都大学 化学研究所 複合基盤化学研究系 教授  
株式会社エネコートテクノロジーズ 共同創業者/最高技術顧問 若宮 淳志



15:00-17:10

ポスターセッション <協賛> 九州脱炭素化研究会(Q-DeCS)  
ポスター賞 授賞式

言語 日本語+英語  
オンサイト

2026  
1/27 火

9:10-12:00

## フォーカストセッションB

国立大学協会九州地区支部会議 九州地区再生可能エネルギー連携委員会(K-RECC)

再生可能エネルギー連携フォーラム

講演 再生可能エネルギーに関する各大学の取組について

14:00-14:30

## フォーカストセッションC

言語 日本語  
ハイブリッド

特別講演 「AIとトランプ時代のエネルギー転換」

ブルームバーグNEF(BNEF) 日本市場アナリスト サディク ウメル



14:40-16:10

モジュール研究講演

16:30-18:00

ダラム大学(Durham University)との合同セッション  
[Innovations in Molecular Design and Photofunctional Materials]

言語 英語  
オンライン

2026  
1/29 木

13:30-16:50

エネルギー研究教育機構(Q-PIT・FCVI事業)/  
未来社会デザイン統括本部(FS本部・シンクタンクユニット・脱炭素ユニット)

## 合同シンポジウム

「～エネルギーの未来を変える九大発未来革新技術の展望～」

会場 九州大学伊都キャンパス[I<sup>2</sup>CNER第一研究棟 I<sup>2</sup>CNERホール]

言語 日本語  
ハイブリッド



## プレナリーセッション

基調講演1 「強靱でイノベティブな  
サプライチェーンに向けて」早稲田大学 政治経済学術院  
教授 戸堂 康之

【略歴】 東京大学卒業後、スタンフォード大学で経済学Ph.D.取得。南イリノイ大学、東京都立大学、東京大学を経て現職。経済産業研究所プログラムディレクター、日本国際経済学会常任理事。国際経済学・開発経済学・日本経済論における実証研究を専門とし、Nature Sustainabilityなどの英文学術誌に多数の論文を掲載。著書に『経済学って何だろう』『開発経済学入門』『日本経済の底力』など。

【講演概要】 本講演では、強靱でイノベティブなサプライチェーン構築に向け、特に国内回帰の産業政策やフレンドショアリング、知的連携のための情報・制度・インフラ支援のあり方に焦点を当てて議論します。九州の現状や可能性にも言及します。

基調講演2 「大量生産・大量消費社会と気候変動：  
サプライチェーン分析の視点から」九州大学 大学院経済学研究院  
主幹教授 加河 茂美

【略歴】 東北大学で博士(学術)取得後、国立環境研究所や東北大学を経て2006年より九州大学に着任。現在は主幹教授として、環境政策や産業構造分析、サプライチェーンの脱炭素化を研究。Sir Richard Stone Prizeなど国際的な賞を受賞し、CO<sub>2</sub>排出の構造分析や環境効率改善による健康効果の定量化など、国際的に注目される研究成果を多数発表。

【講演概要】 本講演では、自動車の分析を具体例として取り上げながら、大量生産・大量消費社会における気候変動問題を、サプライチェーン分析の視点から総合的かつ多角的に検討します。

## フォーカストセッションA



## 特別講演 「研究室から実用化研究へ：ペロブスカイト太陽電池のスタートアップ設立と実用化展開」

京都大学 化学研究所  
複合基盤化学研究系 教授  
株式会社エネコートテクノロジーズ  
共同創業者／最高技術顧問 若宮 淳志

【略歴】 2003年京都大学で博士(工学)取得後、名古屋大学を経て2010年京都大学化学研究所准教授、2018年より教授。同年、(株)エネコートテクノロジーズを設立(共同創業者、最高技術顧問)。現在、京都大学で理事補(企画・調整、研究推進 担当理事)および副プロボストを兼任。

【講演概要】 本講演では、ペロブスカイト太陽電池の高性能化と実用化に向けた研究開発、そして京都大学発スタートアップ設立の取り組みについて紹介します。

## ポスターセッション・ポスター賞 授賞式

● K<sup>2</sup>-SPRING グリーンイノベーションユニット プログラム生  
● エネルギー研究教育機構 博士課程学生支援プログラム受賞者

● 宮本淳式水素研究奨励賞受賞者

## フォーカストセッションB 再生可能エネルギー連携フォーラム

## 講演 再生可能エネルギーに関する各大学の取組について

- ① 「再生可能エネルギーの社会実装に向けた教員養成のプログラム」  
福岡教育大学 副学長(学部改革担当)・教授 石丸 哲史
- ② 「水溶液を用いた環境に優しいIロゲン化鉛系ペロブスカイト太陽電池の作製」  
佐賀大学 理工学部 准教授 江良 正直
- ③ 「洋上風力人材育成事業及びモビリティ研究開発の紹介」  
長崎大学 副学長(産学連携担当)・教授 山本 郁夫
- ④ 「ブルーカーボンの資源化とカーボンニュートラルに向けた取り組み」  
熊本大学 産業ナノマテリアル研究所(所長) 教授 木田 徹也

- ⑤ 「大分大学におけるGX研究の紹介」  
大分大学 理工学部 先端技術・GX研究センター 機械工学プログラム 教授 山口 卓也
- ⑥ 「親和性の高い観光資源としての再生可能エネルギー 一規模離島だからこそその取組み」  
鹿児島大学 法文学部 法経社会学科 教授 市川 英孝
- ⑦ 「宮崎の特色を生かした再生可能エネルギー教育と地域貢献」  
宮崎大学 工学部 工学科 電気電子システムプログラム 教授 吉野 賢二
- ⑧ 「カーボンニュートラルに向けた琉球大学の取り組み」  
琉球大学 学長補佐(産学官連携担当)／工学部 准教授 末吉 敬恭
- ⑨ 「九州地域の持つ地熱資源の強み」  
九州大学 工学研究院 地球資源システム工学部門 准教授 米津 幸太郎

## フォーカストセッションC



## 特別講演 「AIとトランプ時代のエネルギー転換」

ブルームバーグNEF(BNEF)  
日本市場アナリスト  
サディク ウメル

【略歴】 日本における政治、内外情報、関税、製造産業、蓄電池、気候テック関連の市場分析を担当。以前はブルームバーグ・グローバルデータ部門のアナリストとして、為替・スワップ市場を担当。九州大学工学部卒。

【講演概要】 本講演では、デジタル産業の拡大に伴う電力需要増大や、生成AIの普及によるコンピュータ需要の高まりが電力市場にもたらす最新トレンドを分析し、その経済性を多角的に探ります。

## モジュール研究講演

- |                            |                                   |
|----------------------------|-----------------------------------|
| ● 九州大学 総合理工学研究院 教授 飯久保 智   | 「データ科学を基軸とした異分野融合型産学連携」           |
| ● 九州大学 先端物質化学研究所 准教授 工藤 真二 | 「炭素化を基軸とする固体バイオマス資源の高度利用技術開発」     |
| ● 九州大学 工学研究院 教授 谷ノ内 勇樹     | 「陽極反応転換型アルカリ水電解をコアとする水素供給システムの開発」 |
| ● 九州大学 人間環境学研究院 教授 山口 謙太郎  | 「脱炭素社会に資する途上国のAffordable housing」 |
| ● 九州大学 人間環境学研究院 助教 有馬 雄祐   | 「環境解析で計算可能な建築の動的幸福感指標の開発」         |
| ● 九州大学 工学研究院 教授 菅井 裕一      | 「地域特化型CCSシステム構築モジュール」             |

## ダラム大学(Durham University)との合同セッション &lt;講演者/Speaker&gt;

〔ダラム大学〕

Robert Pal 教授  
(Department of Chemistry, Durham University)  
「Recent Advancements in CPL Instrumentation and Bright CPL Emitting Molecular Engineering」Andrew Monkman 教授  
(Department of Physics, Durham University)  
「Excited State Conjugation Breaking in Rigid, Planar Molecules Leading to Charge-Transfer States and Thermally Activated Delayed Fluorescence」Patrycja Brook 博士  
(Department of Chemistry, Durham University)  
「Organoboron-Based Fluorescent Probes for Advanced Bio-Imaging and Bio-Sensing Applications」

〔九州大学〕

宮田 潔志 准教授  
(九州大学 理学研究院)  
「Spatiotemporal Analysis of Chemical Reaction using Laser Spectroscopy and Flow Reactors」アルブレヒト 建 准教授  
(九州大学 先端物質化学研究所)  
「Development of Stable and Bright Luminescent Radical Materials」小野 利和 准教授  
(九州大学 工学研究院)  
「Unique Photophysical Functions of Aluminum-Based Dinuclear Triple-Stranded Helicates: From Multicolor Emission to Triplet Energy Generation」

(以上 敬称略)